

令和5年6月22日
文教・福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和4年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和4年度 事業報告書

令和5年5月25日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫
指定管理期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日(5年間)

(1)業務実施状況報告(令和4年度)

【管理運営に関する基本方針と結果】

令和3年度に公募により実施された指定管理者選定を経て、令和4年度からの5年間、指定管理者として引き続きセンター運営を受託することが決定した。

当法人はお客様がアクトパルを創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より新たに「利用料金制度」が導入されたが、これをより自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や人員配置の見直し等、必要経費の削減にも努めた。また、お客様の利便性を高めるため施設ホームページのリニューアルや、電子マネー・クレジットカード等のキャッシュレス決済を導入した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

(有)笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて協議の場を設けた。

令和4年度も影響の続いた新型コロナウイルス感染症についても、職員・お客様の健康チェックや各所の消毒など日常的な対策の徹底をはじめ、京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」等を参考に施設の感染予防対策を講じ、感染者が発生した場合も保健所や自治体と連携を図り適切に対応した。また、京都府の「きょうと魅力再発見キャンペーン」に参加し、利用の促進を図った。

8月には開所以来の累計利用者数が200万人に到達した。記念式典は台風のため中止となったが、後日「200万人達成記念抽選会」を実施した。

年間利用者数は77,849人と前年度比で約7割増加したが、上半期の繁忙期に新型コロナウイルス感染流行期が重なったことによるキャンセルなどの影響で、利用料金収入が当初予算比で約850万円減少した。また、社会情勢の影響により電気料金も大きく値上がりし、当初予算比で約220万円の支出増となった。

これらの予想されていなかった不可抗力要因が収支に大きな影響を与えることになったため、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和4年度は指定管理料を約390万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

【利用促進策の取組結果について】

[4 年度の取組み]

- ・「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、割引価格で宿泊利用いただけるよう調整を図った。
- ・京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」や、一般社団法人日本旅行業協会等が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を基準とした感染症予防対策を行った。
- ・ホームページをリニューアルし、情報発信を強化した。
- ・キャッシュレス決済を導入し、お客さまの利便性向上を図った。あわせてレジアプリも導入し、受付事務の効率化を図った。
- ・「宇治市子どもの読書活動推進」との連携事業として、管理棟ホール図書コーナーに新たに幼児向け絵本コーナー「えほんの森」を設けた。
- ・宇治市立図書館と連携し、新たな予約図書配本所として予約図書配本サービスを開始した。
- ・予約不要の工作プログラム「つくってあそぼう！」を実施した。
- ・宇治市内公民館や生涯学習センターでのイベントに出展し、施設外で工作プログラムを提供した。
- ・通算来場者数 200 万人達成を記念して企画した「記念式典」は台風の影響により中止したが、「秋のひろば」で無料宿泊券や地元特産品の当たる「200 万人達成記念抽選会」を開催し、施設の PR につなげた。

[継続的な取組み]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。
 - ・日々の清掃に注意を払うとともに、施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置して清潔感を高めた。
 - ・安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んだ。(利用定員制限、手洗い場・消毒液の増設、入所時の体調・検温確認、館内放送での呼び掛け等)
 - ・イベント開催にあたっては、状況に合わせた定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
2. 屋外施設については、自然環境を大切にし、自然と一体となった施設管理を行った。
3. 施設を有効に活用した事業、ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。
 - ・イベント開催にあたっては、状況に合わせて定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
 - ・「お茶つみ体験」「ふるさとを味わおう！」「星空観察とホタル」等の事業を実施した。(令和4年度は一部内容を変更または中止した。)
4. 気軽に参加できる予約不要の事業を開催するとともに、利用の減少する冬期に多くの事業を開催した。
 - ・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。
 - ・「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を冬期に実施した。
 - ・「春のひろば」「秋のひろば」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設の PR を図った。(令和4年度は一部内容を変更または中止した。)
5. 農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。
 - ・「お茶つみ体験」「ふるさと体験(稲刈り、栗拾い、しいたけ菌打ち、餅つき体験)」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」「ぽかぽかハイキング」等を企画した。(令和4年度は一部内容を変更または中止した。)
6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。
7. 様々な利用形態の受け入れ。
 - ・宇治を舞台にしたアニメ「響け！ ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。

- ・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
- ・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう調整・案内した。

【利用料金収入の結果について】

当初はコロナ禍前の令和元年度を基準として約 3,400 万円の利用料金収入を見込んでいたが、上半期の繁忙期に新型コロナウイルス感染流行期が重なり、キャンセルなどによる減額が約 850 万円となった。10 月以降は徐々に利用が回復し、年間合計で約 2,550 万円の利用料金収入となった。

【地域との連携、市民参画の結果について】

1. 地域: 地域との交流、連携、貢献を大切にし、地域振興の拠点となるよう努めた。
 - ・「アクトパル秋のひろば」「新春笠取市」等で、地元農家や笠取小学校に協力を仰ぎ、イベントに出展していただいた。
2. 関係機関: 市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
 - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整や合同説明会を実施した。
 - ・笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただき、またイベント開催にも協力いただいた。
3. 団体: (有)笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。
 - ・(有)笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては、これまで笠取ならではの料理として冬季限定の「笠取鍋」を提供していたが、新型コロナウイルス感染症対策として代わりに一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を提供した。また、食堂新規メニューとして「牛丼」「冷やしうどん」を販売した。
 - ・食堂では地元産の米を使用し、売店でも地元産の米や野菜、果物の販売を行った。その他、不定期で「笠取市」を開催し、笠取の魅力発信につなげた。
 - ・食堂の感染防止対策として、定員数の縮小や定期的な換気、手洗い消毒の励行、カウンターに飛沫防止シート、客席にパーテーションを設置するなど感染防止対策を実施した。
4. 登録団体等: ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。
 - ・天体観察を天文ボランティアと協力し実施した。
 - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「家族 de キャンプ」を開催した。
 - ・木工ボランティア「WOODY MATE UJI」の協力で、「夏休み親子工作デー」「冬の木工教室」を実施した。
5. 団体その他
 - ・大学生ボランティアの協力を得て、イベント「ちびっこキャンプ」を実施した。
 - ・eco ット宇治の活動に賛同し、「春のひろば」「秋のひろば」に出展いただいた。
 - ・eco ット宇治と共同で、雑木林の再生をめざした「どんぐりプロジェクト」を実施した。

【自主事業に関する取組結果について】

1. 食堂・売店運営を(有)笠取ファームに委託し地元特産物の販売や PR を行った。
 - ・食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。
 - ・「春のひろば」「秋のひろば」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。
 - ・食堂新メニューとして「牛丼」「冷やしうどん」を販売した。
 - ・鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。
2. 宇治市内公民館等で出張教室を実施し、工作プログラムを提供するとともに施設の PR を図った。

【情報発信の取組結果について】

- ・宇治市「市政だより」でイベント開催予定を周知した。
- ・新聞各社へ自主事業等の記事掲載を依頼した。
- ・FMうじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。
- ・宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント案内の情報発信をした。
- ・メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。
(イベント参加者に対する次回イベントの通知) 令和5年3月現在登録者数約3,500人
- ・雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっぷる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』『Leaf』等に施設紹介記事が掲載された。
- ・「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
- ・SNS(Facebook、Instagram、Twitter)を毎日更新し、施設のトピックやイベント情報等の発信を行った。
- ・KBS 京都やKCN 京都のテレビ番組取材に協力し、施設をPRした。
- ・ホームページ上で、施設予約状況を公開した。
- ・Web 情報サイト(号外ネット、ALCO)に情報提供しイベント情報を掲載いただいた。

【施設の維持管理実施状況について】

[トラブル対応、防犯、防災対策状況]

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。

2. 防犯対策

- ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無いようお客さまに協力をお願いした。
- ・玄関、受付等に防犯カメラを設置している。

3. 防災対策

- ・台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・宇治市東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
- ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
- ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・土砂災害警戒情報発令時は、危険箇所該当施設の利用を中止した。
- ・高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・新型コロナウイルス感染症に備え、施設各所に消毒用アルコールスプレーを設置した。
- ・密を避けるため炊事棟の利用テーブルを制限し、テーブル間隔をあけて利用できるようにした。
- ・落雷の影響による自動火災通報装置等、機器類の故障について宇治市と協議し修繕を行った。復旧までの間、管理嘱託(宿直)の増員や夜間巡回点検を強化し安全管理に努めた。
- ・経年による劣化がすすんでいた防火設備(排煙窓、防災壁等)の改修を行った。(宇治市予算)

[利用者要望の把握状況及び実施策]

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。

- ・宿泊退室時「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
- ・食堂メニューの改善要望に対して、(有)笠取ファームとの協議を行った。
- ・フリーテントサイトの利用増に対応するため、従来の2区画から4区画にエリアを拡大した。
- ・現金以外の支払い方法に対応するため、クレジットカード、電子マネー等が利用可能なキャッシュレス決済を導入した。

2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経常経費の縮減について

- ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
- ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。
- ・電気コスト削減に向け、高圧電力料金を比較し、料金の安い電力会社と契約した。しかしながら電気料金的大幅な値上がりにより、当初見込みより約 220 万円の経費増となった。
- ・緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、クーラー利用の縮減に努めた。
- ・各種契約の内容や回数の見直しにより約 250 万円経費を縮減した。
- ・人員配置の見直しにより約 370 万円経費を縮減した。

2. 低コストの追求について

- ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率化を図った。
- ・値動き幅の大きい灯油は、2 か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応した。

【管理運営体制等について】

[職員体制]

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 財団事務局長 | 1 人 |
| 2. 財団職員 | 3 人 |
| 3. 財団嘱託(常勤) | 6 人 |
| 4. 財団管理嘱託(宿直) | 4 人 |
| 5. 臨時職員 | 7 人 |

[職員研修計画と実施状況]

1. 職員研修の実施

- ・全国青少年教育施設長会議
- ・公益法人向けセミナー(経理、法改正対応)
- ・日常研修:毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

- | | |
|-----------------|-----|
| ・危険物取扱者免状 | 3 人 |
| ・甲種防火管理講習修了証保有者 | 2 人 |
| ・学芸員資格 | 1 人 |
| ・保育士資格 | 1 人 |

(2) 施設利用状況報告(令和4年度)

【施設利用状況】1. 入館(場)者数						
<p>令和4年度も夏場の繁忙期に新型コロナウイルス感染症による影響が続いたが、10月以降は徐々に回復し、年間集計では前年度比で7割増となる77,849人となった。</p>						
平成30～令和4年度 利用者数						(単位:人)
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
宿泊利用	32,600	30,787	8,401	11,516	24,655	
日帰り利用	65,743	66,178	53,732	34,385	53,194	
合計	98,343	96,965	62,133	45,901	77,849	
【施設利用状況】2. 貸館状況						
平成30～令和4年度 施設別利用者数						(単位:人)
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
宿泊施設	管理棟宿泊室	2,614	2,191	1,215	1,122	1,954
	宿泊棟宿泊室	25,265	23,745	4,893	8,593	18,061
	テント(フリーテントサイト 日帰り利用者含む)	3,375	3,605	1,749	1,199	3,728
	山の家	1,516	1,271	875	789	1,298
その他施設	研修室	12,416	9,964	1,815	3,191	7,422
	体育館	19,198	16,723	5,896	9,339	15,225
	天体観察室	4,617	3,153	916	1,240	2,250
	工作棟	9,388	9,221	5,037	5,724	9,906
	野外炊事棟	27,930	25,718	12,555	10,045	20,918
	グラウンド・ゴルフ場	5,663	5,934	4,270	3,562	5,480

(3)管理経費収支報告(令和4年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	110,021	113,921	指定管理料	
	利用料金収入	34,061	25,493		
	その他	6,533	6,450	工作・体験事業収入 京都府補助金他	
収入合計(A)		150,615	145,864		
支出	人件費	75,176	71,613	給料、福利厚生費他	
	施設維持管理費	59,602	60,405	光熱水費、委託費他	
	事業運営費	7,017	6,135	消耗品費、講師謝礼 他	
	事務費	8,820	7,708	租税公課、保険料他	
	一般管理費				
	その他				
支出合計(B)		150,615	145,861		
収支(A)-(B)		0	3		

(4)－1 事業実施状況報告(令和4年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4) - 2 事業収支状況報告(令和4年度)

団体名 公益財団法人 宇治市野外活動センター
(単位:千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A)-(B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝金	材料費 等	その他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること